

《参考資料》

過去受賞作品・団体賞受賞校(学年は、受賞当時のものです)のご注意ください。()

■ 第十六回

◎ 最優秀賞

川村望樹 (青森県・七戸高等学校3年)
大いなる虹生まれくる山河あり
帰省子を迎える山の風軽し
農機具は祖父の形見や月おぼろ

佐藤 廉 (岩手県・水沢高等学校2年)

花は葉にいつでもそこにある線路
引つ越しを終えて遠くの銀河かな
新涼や母への手紙書き換える

田村明日香 (神奈川県・慶應義塾湘南藤沢高等部1年)

冷房のなか恐竜の化石かな
帰省子やあの農道を凱旋す
鮮やかな車内広告秋近し

森優希乃 (愛媛県・松山東高等学校2年)

鰐の背にたまつてをりし冬の水
冬温し伸び縮みする虎の腹
馬の背のカーブするどく冬の朝

川村貴子 (高知県・土佐高等学校2年)

花カンナ母校更地になりにけり
キャンバスに赤という意思秋澄みぬ
牛の瞳に流れゆく街秋の暮

◎ 団体優秀賞

洛南高等学校 (京都府)・広島高等学校 (広島県)・松山東高等学校 (愛媛県)

◎ 団体奨励賞

大和東高等学校 (神奈川県)・吹田東高等学校 (大阪府)・長崎女子高等学校 (長崎県)

■第十七回

◎最優秀賞

高橋倭子（岩手県・黒沢尻北高等学校3年）
日焼して大きな夢を語りけり
流木の冒険思いつつ涼し
夕焼や電車の中という孤独

梶原光良（東京都・開成高等学校2年）

浅蜷捨て蛤入れる汐干籠

風船と口と交互に膨めり

男雛今修理中なり雛祭

細淵一史（東京都・立教池袋高等学校3年）

花氷時間は水になつてゐる

生垣の輝いてゐる梅雨晴間

南風や花屋の水の流れをり

小村弥沙季（神奈川県・慶應義塾湘南藤沢高等部1年）

割れし筆先を整え子規忌かな

白黒の顔写真濃く獺祭忌

子規の忌に炊飯釜の深さかな

渡邊玉貴（京都市・洛南高等学校2年）

沈丁花写楽は背筋曲げたがる

若冲の鶏に睨まれてる目高

北斎の波に吞まるる遠花火

◎団体優秀賞

旭川東高等学校（北海道）・開成高等学校（東京都）・慶應義塾湘南藤沢高等部
（神奈川県）

◎団体奨励賞

稚内高等学校（北海道）・実践女子学園高等学校（東京都）・神奈川大学附属高
等学校（神奈川県）

■第十八回

◎最優秀賞

高橋洋平（福島県・福島西高等学校2年）
被曝者として黙禱す原爆忌
無被曝の水で被曝の墓洗う
フクシマに柿干す祖母をまた黙認

日下部太亮（東京都・開成高等学校3年）

向日葵や風に炎の匂ひあり

向日葵を撮る向日葵に囲まれて

夜は湖のごとき向日葵畑かな

山下真（東京都・開成高等学校1年）

日記買ふ書きたいことのあるうちに

頬杖の指に蜜柑の匂ひをり

大きくしやみして相槌を打ち直す

田村明日香（神奈川県・慶應義塾湘南藤沢高等部3年）

向日葵の畑に小さき帽子浮く

向日葵や十年越しの家族写真

向日葵の三輪咲いてゐて荒地

中島孝幸（広島県・広島高等学校2年）

大陸に片腕残し麦の秋

縁側の老人八月十五日

忍び難きを忍びし人や蟬時雨

◎団体優秀賞

福島西高等学校（福島県）・開成高等学校（東京都）・広島高等学校（広島県）

◎団体奨励賞

三本木高等学校（青森県）・鎌倉女子大学高等部（神奈川県）・都城工業高等学校（宮崎県）

■第十九回

◎最優秀賞

長澤魁斗（青森県・七戸高等学校2年）
五月闇心の闇を隠しけり
不意打ちの雷鳴のごと愛を告ぐ
しわしわの祖父の手固く墓洗ふ

吉沢美香（青森県・弘前高等学校2年）

※吉は土に口

帰省子の俺は訛りを吸って吐く

津軽弁めごいんだべが林檎拭く

青嵐「良い人」なんて脱ぎ捨てよ

野村モモ（福島県・福島西高等学校3年）

瓜の馬私を知らない亡弟（おとうと）に

ヒロシマナガサキ妹に敗戦日を教え

フクシマよ埋めても埋めても葱匂う

柳澤悠佑（京都府・洛南高等学校2年）

熟れてゆく力に揺るる林檎かな

林檎寂し裸体あふるゝ絵の中に

消えたくて消えたくなくて林檎嘔む

三原瑛心（愛媛県・済美平成中等教育学校5年）

兄面の兄恨めしき唐辛子

日記買う姉の意地悪書くために

かき氷弟らしくない自分

◎団体優秀賞

七戸高等学校（青森県）・福島西高等学校（福島県）・洛南高等学校（京都府）

◎団体奨励賞

逗葉高等学校（神奈川県）・安城高等学校（愛知県）・天白高等学校（愛知県）